

International Development Center of Japan
IDCJ 国際開発センター

**新たな研修を続々と実施
 ～国際開発センターの研修事業～**

国際開発センター (IDCJ) は、1971年の創設(当初は財団法人)以来、「『人づくり』は国際開発事業(業務)の核である」という理念の下で、人材育成を調査業務に並ぶ重要な柱として位置付け、注力してきました。2016年度は、以下の研修を実施する予定です。

① 保健・医療統計ワークショップ

“神の意志を知るためには、統計学を学ばねばならない。なぜなら統計学は彼の目的の測定手段だからだ”これは、「白衣の天使」の名で知られるフローレンス・ナイチンゲールの言葉です。「情熱の統計家」としても有名な彼女は、膨大なデータを統計的に分析し、傷病兵の死亡の原因が劣悪な衛生環境にあることを突き止めました。本研修では、国際保健事業の事例を交えながら、保健・医療統計学の「考え方」を身に付けることを目指します。

② 統計学のための数学ワークショップ

発行部数35万部の大ヒットを記録したことが記憶に新しい『統計学が最強の学問である』(ダイヤモンド社、2013年)の著者、西内啓氏は、同書の中で「ビックデータ時代には統計学が最強の武器となる」と断言しています。このワークショップでは、その「最強の武器」である統計学を駆使するために必要な数学を高等学校レベルから学び直します。

③ プロフェッショナル統計分析ワークショップ

毎回、「誰でも必ずわかる!」と大好評を得ている研修講座です。基礎的な統計分析と回帰分析法を学んだ後、構造方程式モデリング(SEM)や階層線形モデル(HLM)、最新分析手法(DID、PSM、IV)を3日間かけて学びます。足し算、引き算、掛け算、割り算ができ、そして、エクセルを日常的に使っている方であれば、どなたでも参加できます。

④ 国際開発のための社会調査：基礎編、実践編

社会調査法は、評価業務において、いまや必須の技術となってい

ます。また、技術協力プロジェクトの中に、世帯レベルのベースライン調査やエンドライン調査が組み込まれるケースも増えています。この講座は、社会調査の基礎的理論と、現場ですぐに使える実用的な技術を2日間で効率的に学びます。



SROI評価研修の様子

⑤ SROI評価セミナー

NPOの活動を評価するために、民間企業の投資審査の手法を応用した「社会的投資収益率法」(SROI: Social Return on Investment)を2日間にわたって学びます。SROI評価の担い手の育成を目指す実践的な内容で、国際開発センター (IDCJ) とSROIネットワークジャパン (SROI-NJ) が共催しています。

⑥ 社会貢献推進事業：『NPOとNGOのためのインパクト評価入門』

「事業の効果を定量的・客観的に測りたい」「最近流行りのインパクト評価を導入してみたい」、「事業の改善にインパクト評価を役立てたい—こうしたNPO、NGOの声に応えるための研修講座です。『インパクト評価の代表的なデザインと適用事例』と『エクセルを使った統計分析』を1日かけてじっくり学びます。

(文責：国際開発センター 評価部主任研究員 佐々木 亮)

研修名	日時	講師	参加費
保健・医療統計ワークショップ	2016年7月(2日間)	三輪岳史(IDCJ研究助手)、諏訪裕美(IDCJ研究員)	20,000円
統計学のための数学ワークショップ	2016年7月(1日間)	酒寄晃(IDCJ研究助手)	10,000円
プロフェッショナル統計分析ワークショップ*	2017年1月(3日間)	佐々木亮、高木桂一(IDCJ研究員)、外部講師	70,000円
SROI評価セミナー*	2016年7月(2日間)	佐々木亮(IDCJ主任研究員)、外部講師(SROI-NJ)	75,000円
国際開発のための社会調査	2017年1月(2日間)	高木桂一(IDCJ研究員)	40,000円
社会貢献推進事業:NPOとNGOのためのインパクト評価入門	2016年6~8月(1日間)	佐々木亮(IDCJ主任研究員)	廉価(ウェブで公表)

(全ての講義において、日程および講師が変更になる可能性があります。また、(*)は年度後半にも再度実施する予定です。)

IDCJでは今後も、人材養成事業に積極的に取り組んでいきます。最新の研修の情報はホームページおよび各種メールリストでご案内します。http://idcj.co.jp/